

令和〇年〇月〇日

さつま町長 上野 俊市 様

氏名欄は、自署であれば押印不要。

住所 さつま町船木〇〇番地〇

氏名 □□踊り保存会  
代表 〇〇 〇〇

印

令和〇年度さつま町民俗芸能保存事業費補助金交付申請書

標記について、次により令和〇年度さつま町民俗芸能保存事業補助金を交付されるよう関係書類を添えて申請します。

記

- 1 申請 額 172,000 円也
- 2 事務事業名 令和〇年度さつま町民俗芸能保存事業
- 3 申請額算出内訳 (別紙)
- 4 事業計画書 (別紙)
- 5 収支予算書 (別紙)
- 6 その他必要な書類 (別紙)

## 1 事業の目的

〇〇公民会に、古くから伝わる民俗芸能として「□□踊り」があります。民俗芸能の保存・継承のため、青壮年団を中心に保存会を結成し、△△区で開催される文化祭や3年に1回開催される豊年祭に出演しています。

コロナ禍以降、披露する機会がありませんでしたが、今年は区の文化祭、九州民俗芸能大会への出演依頼があり、数年ぶりに披露することになりました。高齢化により踊り手確保が難しくなりつつありますが、今年は近隣の公民会から踊りに参加したい人を募り、最低限の人員が確保できたところです。

今回の出演に向けて、経年劣化による道具の補修や初めて出演する5名の衣装購入が必要なことから、補助事業を活用し、□□踊りの保存・継承に努めていこうとするものです。

## 2 活動計画案

月	内容	備考
7月	保存会役員会 衣装虫干し・道具の手入れ	文化祭出演について
8月	衣装合わせ	
9月－10月	練習	
10月〇日	地区の文化祭で披露	
11月〇日	九州民俗芸能大会で披露	長崎県
12月	例会	協議事項 今年の反省 今後の活動方針について

## 収支予算書

## 1 収入の部

(単位:円)

区 分	予算額	比較		備考
		増	減	
県補助金	120,000			九州地区民俗芸能大会出演謝金
町補助金	286,000			内訳は別紙申請額算出内訳書のとおり
保存会負担金	310,500			
計	716,500			

## 2 支出の部

区 分	予算額	比較		備考
		増	減	
伝承活動	40,000			指導者謝金
保存活動	32,500			
道具等の整備	175,000			衣装一式 5名分
	30,000			草鞋 20名分
	35,000			太鼓皮張替 5個
活動支援	40,000			話し合い活動 1回 謝金 4名分
発表活動	364,000			内訳は別紙申請額算出内訳書のとおり
計	716,500			

申請額算出内訳書

記入例

復活・伝承活動

費目	予算額	予算額算出基礎	備考
謝金	40,000	4,000円×5日×2人=40,000円	演奏・所作の指導
計	40,000		

①補助金額 40,000 円 (経費上限4万円) × 1/2 = 20,000 円

保存活動

費目	予算額	予算額算出基礎	備考
記録映像作成	30,000		映像編集・DVD作成
DVD代	2,500		配布用DVD 20枚
計	32,500		

②補助金額 32,500 円 (経費上限5万円) × 1/2 = 16,250 円

道具等購入・道具等補修

費目	予算額	予算額算出基礎	備考
衣装購入費	175,000	衣装一式 35,000円×5名	衣装上下・帯 (詳細は見積書のとおり)
わら草履購入費	30,000	1,500円×20足	
太鼓補修費	35,000	7,000円×5個	皮張替
計	240,000		

③補助金額 240,000 円 × 1/2 = 120,000 円

活動支援

費目	予算額	予算額算出基礎	備考
弁当代	16,000	800円×20名分×1回	9月開催予定の例会用
飲み物代	4,000	200円×20名分×1回	
謝金	20,000	5,000円×4名	道具手入れ・管理 2名 小道具作成・補修 2名
計	40,000		

④補助金額 30,000 円 (上限額3万円)

発表活動

費目	予算額	予算額算出基礎	備考
バス借上代	120,000		小型マイクロバス1台
道具運搬費	40,000		トラック1台
宿泊費	120,000	8,000円×15名	引率3名 演者12名
クリーニング代	84,000	7,000円×12名	衣装一式
計	364,000		

国、県又は関係団体からの助成金額 = 120,000 円

⑤補助金額 (364,000 円 - 120,000 円) / 2 = 100,000 円 (※)

※対象経費は、国、県又は関係団体からの助成額を除いた額。 上限額 10万円

補助金合計 20,000 円 (①) + 16,250 円 (②) + 120,000 円 (③) + 30,000 円 (④) + 100,000 円 (⑤)  
= 286,000 円 (※) ※ 千円未満は切り捨て ①+②+③の上限額は200,000円

※黄色の網掛け部分は自動で計算されます (入力不要)

町税等確認同意書

記入例

私は、令和〇年度さつま町民俗芸能保存事業費補助金の申請に対し、交付決定の審査要件として、町税等の状況を確認されることについて同意します。

令和〇年〇月〇日

さつま町長      上野 俊市      様

氏名欄は、自署であれば押印不要。

以下の欄は、記入しないでください。

住 所 さつま町船木〇〇番地〇

氏 名 □□踊り保存会

代表    〇〇    〇〇

印

申請内容に対する審査	審査 所見		審査	月 日	
				(職・氏名)	
	納税等 確認	<input type="checkbox"/> 町税		確認	月 日
					(職・氏名)
		<input type="checkbox"/> 保育料		確認	月 日
					(職・氏名)
	<input type="checkbox"/> 水道使用料		確認	月 日	
				(職・氏名)	
<input type="checkbox"/> 町営住宅使用料		確認	月 日		
			(職・氏名)		

## 記入例

第1号様式（第2条関係）

3. 提出年月日を記入

年 月 日

さつま町教育委員会教育長 様

2. 区公民館長が記入（押印不要）

区公民館名：■■公民館

館長名：○○ ○○

### 民俗芸能伝承活動実施団体等確認書

下記団体等については、当地域において民俗芸能の伝承活動を行っていることを認めます。

団体等名	■■芸能保存会
踊り名	△△踊り
代表者名	○○ ○○
代表者連絡先	住所：さつま町○○××番地 電話番号： 携帯番号：×××-××××-××××

1. 各団体が記入

○提出先

さつま町教育委員会社会教育課文化係

電話 26-1824

○ 昨年度提出済みでも、名称や代表者等に変更があった場合は、再度提出をお願いします。

○ 今年の披露はなくても、以下のような活動は伝承活動に含みます。

- ・次年度以降の披露に向けての準備や計画、練習
- ・学校等への伝承活動（演舞等指導・衣装の着付など）

※ 活動休止等で再開の見通しがつかない団体は対象外です。